

## 地域課題の解決目指し

### 町と名古屋外国語大学が包括連携協定を締結

愛知県日進市の私立大・名古屋外大世界共生学部の学生らが科目の一環として、2019（令和元）年、22年、23年と、白老でフィールドワーク「北海道プログラム」を実施。担当准教授と10人前後の学生が10日間ほどの実地研修を行い、商店街やアイヌ文化、観光の魅力を発掘、課題を抽出した発表会を開くなどの経緯がありました。

協定は「地域課題への対応」、「地域社会の発展」を目的に、地域振興や産業、教育、国際化、健康・スポーツ・福祉など幅広い分野を想定。役場で行われた締結式で、大塩英男町長と亀山郁夫学長がサインしました。亀山学長は、同大が目指す「世界人材の育成」という理念を紹介し、「地域を学び、世界に学び、最初は小さいながらも人の新しい流れをつくっていきたい」、大塩町長は「若い人の目、外からの目が、今後のまちづくりには必要。われわれが気づかないことを提言していただければ」と話していました。

（11月30日）



## 白老東高校と名古屋外大が高大教育連携協定を締結

「地域学」

「世界共生学」



町との調印に先立ち、学校教育の振興と地域社会の発展を目的に、両者が協定を締結しました。

これまでに白老東高校の特色ある科目「地域学」を中心に、高校生と名古屋外大の学生の交流・合同調査プログラムによるフィールドワーク授業を実施しています。亀山学長は「いままでにない可能性があります。若者同士の連携が実のあるものとなれば」、小川政博白老東高校校長は「地域に学び、社会に学ぶ本校の『地域学』、大学の『共生科目』の合同交流授業の積み重ねによる締結。多文化共生の理念をバックボーンに地域創生につながれば」と話していました。（11月30日）

## 初の移住者交流会 「白老産が盛りだくさん！」テーマに

東京や埼玉などからの約20人が顔合わせ

しらおい移住・滞在交流促進協議会（会長・熊谷威二町商工会会長）が主催。道内外からの移住者がお互いにつながり、白老での生活をより豊かに一と開催しました。夫婦や単身者ら約20人が参加しました。

今回は楽しく白老を知ってもらおうと、メニューは「しらおい元気まち体操」、白老発祥の軽スポーツ「ゲーリング」、踊り「しらおい元気まち音頭」や「しらおい情熱サンバ」、お昼はオハウとイナキビご飯…と、「白老尽くし」。参加者らは暮らしの情報交換やおしゃべりを楽しみながらひと時を過ごしていました。（11月25日）

